

けがのない安全な運動会のために!!

運動会では、競技中だけでなく、準備や休けい、練習中などにもけがが起きています！
どうすればけがをしないか、考えてみましょう！



どんなときにどんなけがをしているのかな？

準備中

運動会の準備で入退場門を立てているとき、
金具を打ちそこね、トンカチで自分の指を打った。
(6年 / 女子)

休けい中

運動会の休けい中に、後ろの友人が手で頭を
おしてきて、いすにおでこが当たった。
(6年 / 男子)

練習中

運動会の全体練習後、教室にもどったが、体の
だるさ・吐き気があり、手足がしびれた。
(5年 / 男子)

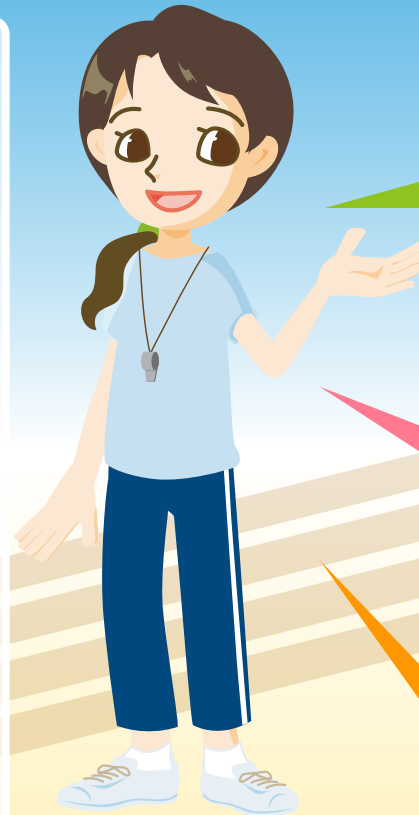
平成 29 年度災害共済給付データより

どうしたら防げるのかな？

用具の使い方に気をつける！

まわりにめいわくをかける
行動はやめる！

水分や休けいをこまめにとる！



みんなで注意し合ってけがを防ぎましょう！

けがのない安全な運動会のために

令和元年9月号

小学校教職員向け

■ 運動会では、次のような障害事例（小学校）があります。

（学校事故事例検索データベースより）

障害種	被災学年	性別	発生状況
外貌・露出部分の醜状障害	3	男	運動会の昼休みに、友人3人で鬼ごっこをしていたところ、友人の足とぶつかり転んだ。その際、グラウンド端の側溝に顔面をぶつけ、左眼外側を負傷した。
歯牙障害	6	女	運動会予行練習で団技「竹取物語」で相手チームと竹の引っ張り合いになった。相手チームの児童が手を離れたため、まだ竹の端を引っ張っていた本児童の口に竹が当たった。
聴力障害	2	男	運動会昼食時に、走って手洗い場に向かった。約1mの高さに紐が張ってあったため、その紐が前額部に触れてしまいコンクリートの段差につまずいて転倒した。その時、左耳付近を強く打った。

※その他の事例についても「学校安全Web」学校事故事例検索データベースで閲覧できます。ご活用ください。

運動会は練習も含め、長時間となるため、熱中症になりやすく
病院に搬送される事例もあります。



■ みんなが注目している運動会で、しかも勝敗がかかっているような興奮した状況では、子どもには周りの安全を配慮する心の余裕はありません。運動会を実施するに当たっては、**安全の確保を第一に、きめ細かい計画を立てると同時に、日頃から教師一人一人の危機意識を高め、事故の防止と発生の際の救急救命措置などの安全対策を練っておくことが大切**です。

教師のための危機管理10か条

- (1) 「危ない」と思ったらその場で危険を取り除くなど、何らかの手を打つ
- (2) 安全に関する知識を身につける
- (3) 「たぶん大丈夫だろう」という意識は捨てる
- (4) 常に児童の所在を把握しておく
- (5) 安全点検・安全指導は必ず行い、週案簿に明記しておく
- (6) 緊急連絡体制などのマニュアルは何度も読み返し、頭に入れておく
- (7) AEDやエピペンの使い方を熟知しておく
- (8) 実地踏査や予備実験は、チェックリストを基に必ず実施する
- (9) 急な変更や予定外のことには要注意
- (10) 事故が起きた場合の初期対応も日頃から確認しておく



『学校の管理下の災害 平成30年版』 「小学校における事故防止の留意点」より作成